

SUSTAINABILITY REPORT 2020

HUMANATURE

KEEPING THE PLANET COLD AND
THE PEOPLE ON IT WARM

この地球を冷たく、住む人々を暖かく

CANADA GOOSE

HUMANATURE

「私たちの事業の役割は進化しています。今日の世界においては、意味のある変化を促進することが企業に求められています。私たちは次世代の未来に向けて、地域社会の活性化、地球環境保全のコミットメントに真摯に取り組んでいます。1957年以来、人々を過酷な自然から守り、快適な暖かさを人々に提供し、お客様から信頼を得ております。さらに、HUMANATURE（ヒューマネイチャー。自然との共生）を通じて、暖かさのレベルをさらに高い社会的レベルへと引き上げています。」

Dani Reiss ダニー・リース、社長 兼最高経営責任者（CEO）

北極圏で生まれたブランドとして、サステナビリティ（持続可能性）の推進は私たちのDNAの一部です。何千年の間そこに住んでいる先住民の方から責任を持って資源を活用すること、地域社会を支援すること、そしてお互いにどのようにサポートし合うべきかを学んでいます。

世界は重大な岐路に立っています。この状況に対して、今こそコミットメントを強化する時だと考え、2019年に、環境への負荷を低減し、人間社会へのプラスの影響を最大化するという野心的な目標を設定しました。2020年の劇的な変化の中で、その目標に向けて着実に歩みを進めてきました。私たちの本質的な誠実さに加え、新たなサステナビリティ戦略で、目標を達成に向けて前進します。

この2回目の年次サステナビリティレポートは、私たちと、サプライヤー、コミュニティパートナーの進歩の歩みです。どのように人と自然が、時間の経過とともに、共生し、その形成を支援し、展望に向かって取り組んでいるかの記録です。

カナダグースは、環境の状況を理解し、あらゆる点を客観的に捉え、長期的な視野に立って、この地球を冷たく、住む人々を暖かく保ち続けます。私たちは皆自然の一部であり、自然が私たちの一部であり続けるために。

HUMANATURE（ヒューマネイチャー/自然との共生）	3
このレポート について （免責事項）	6
CEOメッセージ	8
コーポレート・シチズンシップ担当 副社長 メッセージ	10
<u>ビジョンと透明性</u>	<u>12</u>
活動事例：前例のない年、揺るぎない決意	20



原材料



生産



人と
地域社会



WE ARE A PART OF NATURE AND NATURE
IS A PART OF US.

自然は私たちの一部であり、私たちもまた自然の一部である。



About this report

このレポートについて

免責事項

このレポートには、将来の見通しに関する記述を含んでおります。将来の見通しに関する記述は、「予期」、「予想」、「計画」、「可能性」、「見込み」、「決意」、「確信」、「評価」、「予測」、「目標」、「対象」、「目的」、「プロジェクト」等の語句や、同様の意味を表す語句を含むことがあります。これらの将来の見通しに関する記述は、さまざまな事項に対処し、作成時点において入手可能な情報を踏まえて考え、評価および仮定に基づいています。また、将来の見通しに関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、明示または暗示された見込みと大きく異なる場合があります。

事業にはさまざまなリスクおよび不確実性が含まれている場合があります。**2020年3月31日**に終了した会計年度フォーム**20-F**のアンニュアルレポートの「リスクファクター」で特定されたリスク、ならびに証券取引委員会およびカナダの各州および準州の証券委員会または同様の証券規制当局に提出する他の通知にもリスクおよび不確実性が含まれている場合があります。このレポートに掲載されている将来に関する記述は、レポート作成時点において記載されたものであり、当社はこれらのいかなる記述等を更新または改訂する義務を負うものではありません。

A letter from our President & CEO



歴史を通じて、人類は急激な変化を目の当たりにしてきました。今日の現実が私たちに何かを示しているとすれば、急激な変化は突如として起こるということ。

感染症のパンデミックから、社会的公正、地球環境まで - 世界は歴史的に重要な変化を同時に経験しています。

私たちは、変化を避けることが出来ません。現状を揺るがすような変化には、行動が必要なのです。しかし、それは同時に変革への扉を開くものでもあります。

私たちにとって、変革の定義の考え方は”意図して行動すること”です。変革は可能性と実験を受け入れるもので、古いプロセスと考え方を意図的に打破し、将来を見据えた取り組みにコミットし学んで行くことです。

確実に進行しつつある地球の温暖化や海面上昇、従来の私たちの事業活動が、健全な成長を妨げています。私たちは、そのソリューションを生み出し、思考の変革を進めています。

カナダグースでは、サステナビリティ（持続可能性）への取り組みを2019年に表明し、変革を開始しました。サステナビリティは単なる方策ではなく、すべての部門に浸透し、すべての従業員に受け入れられなければならない最重点事項であると考えています。特に世界が深刻な課題に直面している状況において、前向きに推進する責任があると考えます。

社会的、経済的、環境的に具体的かつ差し迫った課題に取り組み、それぞれに対する目標とタイムラインを開示することを約束しています。そして、変化に対応する以上のことをしたいと考えています。

ビジネスモデルに”良いこと”を組み込み展開することで、問題を受け入れ、活発化し、具体的に推進していきたいと思っています。

最初のサステナビリティレポートに掲載したサステナブルインパクト戦略の当初の目標のいくつかをすでに達成しています。直接排出および間接排出の温室効果ガス（スコープ1およびスコープ2）排出量のCo2排出量の測定とカーボンフットプリントを公表し、毎年の温室効果ガス排出量を削減、回避、または捕捉する制度に投資し、事業活動のオフセット（埋め合わせ。相殺）を進め、すでにカーボンニュートラルを達成しています。また、bluesign® system partner（ブルーサイン・システム・パートナー）として、bluesign®の原材料の規格に取り組んでいます。

パンデミックによりいくつかの取り組みのタイミングが遅れが生じましたが、カナダ国内における原材料については、2021年中にRDS（Responsible Down Standard。責任あるダウン基準）認証を100%取得、2025年までに生地の90%にbluesign®認証を取得、所有または管理するすべての施設でリサイクルできない使い捨てプラスチックを廃止するなど、残りの目標を達成するために順調に取り組んでいます。

この1年は、タイムラインの一部を加速させ、迅速な対応が迫られる他の課題に焦点を当てました。また、今日の世界における事業の役割の進化を示しました。

例えば、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が始まった時、パーカ（Parka。フード付き防寒ジャケット）の生産を医療用ガウンや手術着の生産

に転換し、Wuhan Charity Federation（武漢市慈善総会）に100万元（約1660万円）を寄付し、私たちを守る人々を守るために、私たちの役割を遂行しました。カナダ全土で14,000着、Mount Sinai Hospital（マウントサイナイ病院）系列に20,000着を寄贈しました。2020年の秋までに、州および連邦の要望に応じ、追加で250万着以上を原価で提供しました。

2020年後半、サステナビリティとカナダグースの価値観に基づいたあらゆる事業活動におけるイニシアチブを統合したプラットフォーム”HUMANATURE”を発表しました。製品に対して機能性を重視したデザインを忠実に追求し続けながらも、すべてにおいてサステナビリティを軸に行動します。これは、元々推進してきたカナダの企業としての文化や伝統、社会的、文化的取り組みが含まれる理想的な形です。

それは情熱を結集したプラットフォームであり、取り組みの推進における、より健全で多くの行動をするための強力な基盤となります。

変化は困難であり、不安で怖さを伴うことは承知しています。

しかし、変革に意味をもたせ、変化に取り組み、それを利用することで、より良い未来と場所へ世界を導くことができます。

私たちは正しい方向をむいて、より良い変化への準備ができています。

ぜひこのサステナビリティレポートをご覧くださいますと幸いです。

Dani Reiss, C.M., OOnt
ダニー・リース、
社長 兼CEO

A letter from our Vice President of Corporate Citizenship

1

YEAR SINCE WE RELEASED OUR LAST
SUSTAINABILITY REPORT, WE'VE SEEN THE
DRAMATIC IMPACT OF POWER IN OUR WORLD.

最初のサステナビリティレポートを発表してから1年、
世界に劇的な影響を与えた力を目の当たりにしました。

病気の力。ワクチンの力。
地域社会の人々の安全を保つためにかつ
ての日常を制限する家族の力。
人種的不平等を是正するために世界的
に運動を引き起こす個の行動の力。

個人的には、コーポレート・シチ
ズンシップを担う副社長としては、
カナダグースの社内で、従業員を守るだ
けでなく、北米の最前線の医療従事者の
ために医療用ガウンや手術着などの生産
に即座に対応し、懸命に頑張る姿を目の
当たりにして心を揺さぶられました。

同様に、従業員のサステナビリティの
取り組みを続けなければならないとい
うコミットメントの力にも心を揺さぶ
られました。

未曾有の年でしたが、私たちはサステナ
ビリティの積極的な目標に対して大きな進歩
を遂げました。それは世界中のカナダグ
ースのチーム全体の揺るぎのない取り組みの
成果です。

私はカナダグースのチームの熱心な活動に
絶えずインスピレーションを受け、革新的
な方法でお客様と地球環境に貢献する活動
に取り組んでいます。事業活動の質に影響
を与えることなく、継続的に環境へのフッ
トプリントを削減する方法を見出し、目標
を達成し、新しい取り組みを展開していま
す。

今年度のサステナビリティレポートは昨年
から始めた前向きな取り組みを基に、さら
に努力を重ねてまいりました。コミットメ
ントを強化し、目標達成に向け、誠実に取
り組みを進めています。

前向きな変化に可能性の力を感じて、私
たちの会社と地球環境の変革の実現に向
けて懸命に取り組んでいます。そして、
私たちはその取り組みの実現を大変嬉し
く思っています。

Gavin Thompson
ギャビン・トンプソン
副社長、コーポレート・シチズンシップ担当

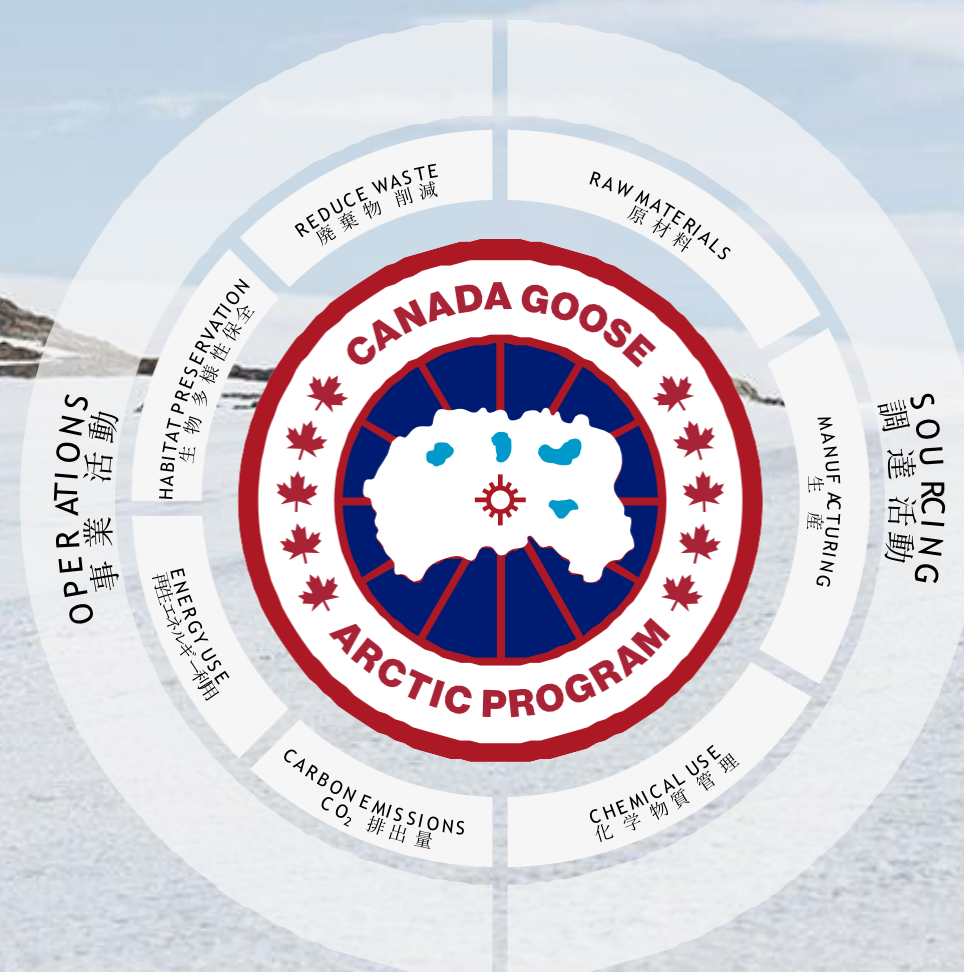
Vision and Transparency

ビジョンと透明性

「私たちは皆、一人一人が変化を生み出す力を持っています。素晴らしい好奇心を持ち、共により良くしたいという思いがあります。地球環境を守り、私たちが地球の一部であると感じられることがいかに大切であるかを知る道を選ぶことができます。」

Sarain Fox
サライン・フォックス、
アニシナアベ族 アーティスト、活動家、
ドキュメンタリー・シリーズ ホスト、 グースパーソン

この地球を冷たく、住む人々を暖かく保ち続けることは、偶然や一回の努力で実現できることはありません。大きな規模の改善には、熟考された統一の戦略が必要です。組織全体に一貫した説明責任を遂行し、サプライチェーン全体の透明性を高め、パートナーやお客様に安心を提供します。



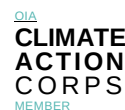
事業活動

分野	目標	進捗
 CO ₂ 排出量	2025年末までまたは早々にスコープ1（直接排出）、スコープ2（間接排出）の排出量のネットゼロ（実質ゼロ）を目指す	2019年に開始し、取り組み継続 2025年までに達成の見通し
	2019年までに本社、工場、小売店、輸送機関からの温室効果ガスの直接排出および間接排出（スコープ1とスコープ2）のCO ₂ 排出量を毎年測定し、公表する	2020年達成
	2021年末までにライフサイクルアセスメント（LCA：Life Cycle Assessment）手法を活用し、当社で最も売れている製品のカーボンフットプリント（CO₂排出量）およびウォーターフットプリント（水の使用量）を定量的に把握し、包括的に評価する	10%
	2025年までにネット・ゼロエミッション（環境負荷の排出実質ゼロ）を達成するまで、毎年、温室効果ガス排出量の200%相当を削減、回避、または捕捉する制度に投資し、事業活動（スコープ1およびスコープ2の排出量）のカーボンニュートラルを毎年維持する	2020年達成
 再生可能エネルギー利用	2022年までに再生可能エネルギーの取り組みを実現する	このコミットメントは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、当社所有および運営の施設の大部分の閉鎖や生産の転換のため、2021年から2022年に更新しました
	2023年までに再生可能エネルギーの購入および/または導入し、エネルギー効率に投資する	2019年に開始し、取り組み継続
	2025年までに必要に応じて再生可能エネルギークレジットに投資する	2019年に開始し、取り組み継続
 生物多様性保全	Polar Bears International（ポーラーベア インターナショナル ホッキョクグマ保護団体）の研究、保護活動を通じて北極圏の保全活動を進める	2007年に開始し、取り組み継続
 廃棄物削減	2020年末までに当社が所有または管理するすべての施設で、包装用シュリンクフィルムなどリサイクルできない使い捨てプラスチックを廃止する	この目標の取り組みは完了 昨年の危機により、目標は未検証 2021～2022年 検証予定
	リサイクル原料（二次資源）を使用し、サプライチェーン全体でバージン原料（一次資源）の使用を削減する	2019年に開始し、取り組み継続
	未使用および保証終了の原材料および製品（リサイクル、寄付、アップサイクリングを含む）のリサイクル、リユース、アップサイクリングの戦略を策定する	2019年に開始し、取り組み継続
	2025年末までにグローバル認証の使用済み製品廃棄物転換100%を目指す	78%
	2025年末までにすべてのパッケージング（包装資材）を持続可能なソリューションに移行する	2020年に開始し、取り組み継続
	2021年末までにパッケージングの持続可能なソリューションの定義、基準値測定の実施、持続可能な取り組み内容の改善およびリサイクル性向上を支援する、パッケージングの目標達成に向けた計画を完成させる	

調達活動

分野	目標	進捗
 原材料	2021年までにカナダゲースの世界クラスのDown Transparency Standard（DTS。カナダゲースのダウンに関する透明性基準）からグローバル認証のResponsible Down Standard（RDS：責任あるダウン基準）に移行する	20%
	その他の関連する持続可能なグローバル規格および業界規格の機会を探る	2019年に開始し、取り組み継続
	より持続可能な製品の開発を継続する	2020年に開始し、取り組み継続
 生産	2025年末までに原材料をTextile Exchange認証のPreferred Fibers and Materials（PFM。推奨繊維および原材料）90%を目指す	
	生産管理の環境負荷低減の機会を継続的に追求する	2019年に開始し、取り組み継続
	総合的なスコアカードおよび監視システムを含む、共同のソーシャルパフォーマンスプログラムを立ち上げる	2019年達成
 化学物質管理	2021年末までに最終製品の生産の評価を完了する	46%
	2022年末までに原材料および加工メーカーに当社のソーシャルパフォーマンスプログラム導入を目指す	
	2025年までに責任ある持続可能な取り組みを示す bluesign®認証の生地90%を目標に割合を増やす	45%

サステナビリティパートナー



ALIGNED WITH THE UN SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国連の持続可能な開発目標に沿った戦略

当社のサステナビリティ戦略は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の目的に沿ったものとなっています。

事業に最も目に見える形で影響を与える分野を特定し、戦略策定に反映しました。具体的には、この4つの目標達成に貢献します。



すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する。



レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進し、イノベーションの拡大を図る。



持続可能な消費と生産パターンを確保する。



気候変動とその影響に立ち向かうために、緊急対策を取る。

CORPORATE CITIZENSHIP GOVERNANCE

意思決定を行う際は、将来を見据え、お客様、従業員、取引先、投資家、サプライヤー、私たちのホームである地域社会、全ての人に良い影響を与えられるように考慮し、良きコーポレートシチズンであることを約束します。

このシチズンシップの文化を組織全体のために、カナダグースの企業全体に及ぶ役割と責任の概要を定めました。プロセスを確立し、持続可能性のビジョンの実現のために設備と技術を整備しています。その中心となるのが、執行運営委員会への報告、環境への暴露の低減、倫理基準違反の回避、その他のリスク低減の責任を共有する、グローバルサステナビリティワーキンググループです。

誠実な企業文化を推進する

カナダグース行動規範において、すべての従業員に求める事を明確にしました。誠実さを最優先に維持するには、年に一度、すべての従業員が行動規範を確認し、当社の期待と倫理基準を理解していることを確認する必要があります。

サプライチェーン全体の誠実さも維持します。更新されたサプライヤー行動規範は、当社が直接生産に係わるすべての施設に適用されます。



その更新の詳細についてはこちら

サステナブル パッケージング ワーキンググループの新設

2020年に、説明責任を果たすための体制に新しい階層を追加し、焦点を当てました。サステナブル パッケージング ワーキンググループを設置し、サステナブル プロダクト ワーキンググループの基盤づくりを始めました。これらのグループは、サステナブルなパッケージングと製品ポートフォリオの強化のための具体的な取り組みに注力し、事業全体に専門性をもたらします。

サステナブル パッケージング ワーキンググループは、カナダグース全体を見渡し、

2025年末までにすべてのパッケージング（包装資材）の持続可能なソリューションへの移行に取り組んでいます。目標は、持続可能なパッケージングで業界のリーダーになることですが、簡単なことではありません。

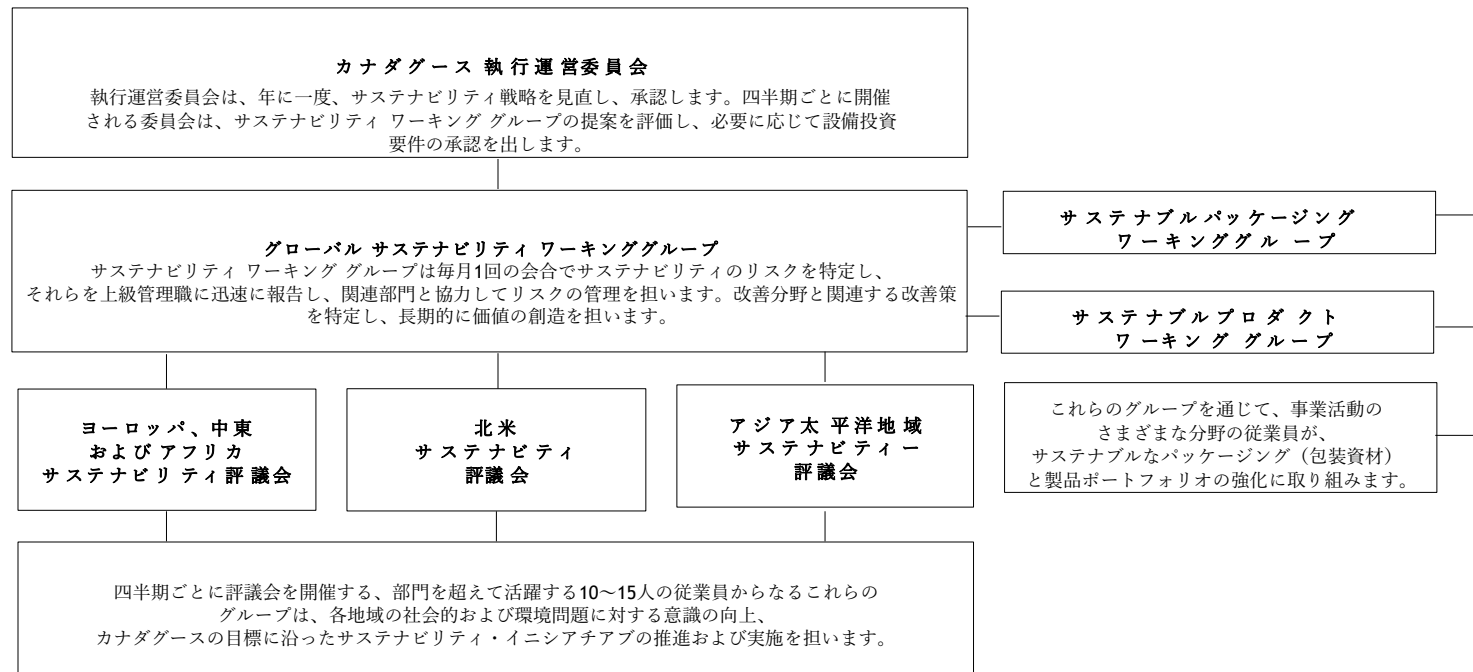
ワーキンググループは、ハンガー、ポリエチレン袋、ECストアのギフトボックスなどのプロジェクトを既に開始しています。使い捨てプラスチックを廃止し、バージン原料（一次資源）の使用を削減して、サステナビリティ戦略に貢献していきます。グループメンバーは、最高のパッケージングをお客様に提供するために新たな課題やご期待にお応えしています。これらの取り組みは、トレーサビリティを向上

させ、長期的にはコスト削減にもつながると見込んでいます。

2021年末までにパッケージングの持続可能なソリューションの定義、基準値測定の実施、持続可能な取り組み内容の改善を支援するパッケージングの目標達成に向けた計画を完成させます。

CORPORATE CITIZENSHIP GOVERNANCE STRUCTURE AND RESPONSIBILITIES

コーポレート・シチズンシップ・ガバナンスの体制と役割



サステナビリティ評議会のハイライト

世界中の50人以上の従業員が、当社のグローバルな事業活動において、北米、アジア太平洋地域（APAC）、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域（EMEA）の各地域のサステナビリティ評議会を通じて活躍しています。

評議会のメンバーは、カナダグースの課題の解決策の具体化に知識を集結し、情熱を持って日々真摯にサステナビリティに取り組んでいます。廃棄物の削減、エネルギー利用の改善、より安全な洗浄済製品の使用などに力を注いでいます。

評議会により以下の成果を得ています。

- 世界の地域における環境問題に対する意識の向上

- 当社のグローバルのサステナビリティ戦略に沿った各地域のサステナビリティ・イニシアティブの推進
- 年次報告とベンチマーク（評価の指標）のためのデータおよび情報収集のサポート
- サステナビリティ戦略を推進する実行計画を利用して、課題、機会、ソリューションの特定
- 四半期ごとに委員会を開催し、その成果をグローバル サステナビリティ ワーキンググループに報告

世界的なパンデミックで閉鎖していた最初の数週間の間も、評議会はオンラインで会合を開き、どのように従業員が自宅でサステナブルな活動ができるかを話し合いました。すべての従業員が個々に、日常の中で廃棄物とエネルギー削減の取り組みを進め、幸福な暮らしの実現に向けて実践するように呼びかけました。

EMEA（欧州・中東・アフリカ地域）サステナビリティ評議会：
評議会により、現在、ヨーロッパのすべてのカナダグースでは、環境に優しい洗浄済製品を使用しており、またリサイクル紙を使った印刷に切り替えました。更に、すべての店舗にリサイクルシステムを導入し、積極的に活用されています。評議会は、カナダグースの使い捨てプラスチック廃止の目標に取り組み、各拠点の原材料をモニタリングし、削減しています。例えば、社内、社外の両方で、ウォーターボトルはプラスチック製ではなくガラス製を調達し、提供しています。

APAC（アジア太平洋地域）サステナビリティ評議会：
評議会は、一部の店舗に毎朝のマインドフルネスセッション（現在において起こっている経験に注意を向ける事）を導入し、従業員に定期的な休憩やリセットするための短い休憩を奨励しています。また、メンバーは、省エネ活動、リデュース・リユース・リサイクルの取り組み、オフィスや店舗でのトレーニングの資料や資材のペーパーレス化を実施しています。特に食事の時の使い捨てプラスチックの問題に取り組んでいます。

北米 サステナビリティ評議会：
2020年の取り組みを支援するために、北米の店舗はサプライチェーンでの使い捨てプラスチックを廃止する独創的な方法を見出しました。ボストンでは、保証対象の商品の返送に使い捨てのパッケージングを使用していましたが、多目的に使えるポリ袋を使用する様に変更しました。トロントでは、生産施設やオフィスに、Waste Diversion Task Force（廃棄物転換プロジェクトチーム）を設置し、すべての従業員がこの目標に取り組んでいます。評議会の延長としては、各店舗にグリーンチャンピオンを決め、各店のサステナビリティの取り組みの中心的な存在としての役割を担っています。

Unprecedented year, unwavering purpose

前例のない年、揺るぎない決意

AN INSIDE LOOK AT OUR PIVOT TO PERSONAL PROTECTIVE EQUIPMENT

医療向け防護服への生産転換の舞台裏

2020年3月16日、カナダグースの生産をすべて停止しました。州政府が不要不急の事業活動の閉鎖を義務付ける前に、新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぐためすべての施設を閉鎖するよう呼びかけたのです。しかし、私たちはそこで立ち止まりませんでした。

社長兼CEOのDani Reissから、翌日までに、パーカ（Parka。フード付き防寒ジャケット）から医療向け防護服（PPE）の生産に工場を転換する方法を見出すという使命を担いました。その使命に応え、全国の医療施設に、生産した手術着と医療用ガウンを寄付するためのカナダグース レスポンスプログラムを設置しました。

「カナダ最大のアパレル製造インフラの1つを用いて、施設を独自に転換し、チームに再び重点を置き、さまざまな医療向け防護服を生産することができる唯一の立場にありました。それはカナダ人が取るべき最善の策だったと確信しています。」

Dani Reiss
ダニー・リース、
社長 兼 最高経営責任者（CEO）

製品の開発

私たちは、パンデミックの間にPPEの生産に移行したカナダで最初の企業の一つでした。その生産の前例はありませんでしたが、私たちの起業家精神のカルチャーとカナダに生産施設があることで、この新しい製品の生産を支援するために迅速に対応することができました。

医療の専門家と協議をし、当社の製品開発チームは、手術着や医療用ガウンの生地、サイジング、その他の仕様について迅速に調査しました。

チームが地元の医療機関から調達したPPEをチームが分解して仕様を確認し、パターンメーカーがデザインをし、通常連続する工程を並行して行いました。

翌金曜日までに - 開始してから1週間後 - 材料はカナダの施設に向かう途中で、パターンと試作品が完成し、生産に入る準備はできていました。ですが、まず、従業員を現場に復帰させなければなりませんでした。

従業員の安全

1週間の閉鎖の後、生産現場の従業員に仕事に戻って安心できるかどうか尋ねました。非常に不確実な状況下で、PPE（医療向け防護服）の生産で地域社会に奉仕するために、従業員数を増強することに慎重でした。

工場を段階的に再開し、従業員が戻る前に生産現場、食堂、洗面所を再編成し、ソーシャルディスタンスやその他の安全対策を講じました。

最良な新型コロナ対策を取るために専門家を招き、従業員の安全を守る為にできる事は全て取り組み、安全を守りました。

生産

まず最初に手術着の生産を開始し、1週間後に医療用ガウンの生産を開始しました。材料、デザイン、検査作業は、カナダ保健省、州政府、医療機関との協働により迅速に対応することができました。

当初は生地が不十分で、PPEを大規模に生産する能力は制限されていました。

私たちは既存の枠にとらわれず、手元にある通常ジャケットの裏地に使用する生地でテストすることにしました。パーカの生産を停止していたため、倉庫にはその生地の在庫が100万メートル程ありました。

生地は、カナダ保健省と協働で、レベル1の医療グレードの要件を満たす機能試験をし、証明を得ました。承認後は、既存のサプライチェーンと協力して、より多くの生地を迅速かつ容易に入手することができました。これにより、生地の供給課題を解決しただけでなく、サプライヤーへのビジネス提供にもつながりました。



「医療向け防護服（PPE）の生産現場には、日々の業務に起業家精神が反映されていました。地域社会を支援し、雇用が守られました。」

John Moran, EVP、
ジョン・モラン
生産・サプライチェーン



寄贈

計画を発表するとすぐに医療向け防護服（PPE）のリクエストが殺到しました。すべてのご要望に対応するために、コーポレート・シチズンシップチームは専用のカナダグース レスポンスプログラムのメールアドレスを作成しました。それにより、メッセージをすべて確認することができました。

ご要望が非常に多かったのも、PPEの寄贈先の決定の判断は大変難しいものでした。患者の多い病院、介護施設、物資不足のコミュニティ、大小の福祉施設など、さまざまな施設を選ぶようにしました。

2020年には、カナダの7つの州の18の医療施設やニューヨーク市にある系列の病院に、手術着と医療用ガウンを無償で提供しました。合計で34,000着を寄贈し、2020年秋までに政府の要望により追加で250万着以上を生産し、原価で提供しました。



従業員とカナダ政府が協働でPPEの公的支援物資を供給するなど迅速にPPEの生産に転換した対応の詳細についてご覧ください。

34K

34,000着を 寄贈しました

Materials

原材料

機能性を第一としたパフォーマンスラグジュアリーブランドとして、地球を冷たく保ち、住む人々を暖かく保つことの目的に適う製品作りに力を注いでいます。これら製品のの一つ一つは、原材料から始まります。

サステナビリティ戦略の一環として、原材料の環境性能とサプライチェーンの透明性を評価する方法を再考しました。チームは、新しい基準やプロセスに対する研究、計画、実施、スタッフトレーニングに膨大な時間を費やしてきました。

これらの移行作業には数ヶ月の努力が必要ですが、最終製品のサステナビリティの条件に対する信頼を消費者に提供するために、私たちは着実に前進しています。2020年は、これまでで最もサステナブルなパーカ（Parka。フード付き防寒ジャケット）を初めてお客様に披露した年でしたが、今後さらに多くのサステナブルな商品をお届けいたします。



最も影響の大きい4つの変更
についてご覧ください【[下記](#)】。

ホリスティック（包括的な）な視点
取り組みのすべてが重要です。最近発表した新作のThe Standard Expedition Parkaの商品開発では、このことを念頭に置いて開発しました。このパーカは、“地球を冷たく保ち、住む人々を暖かく保つこと”というコミットメントの最初の一步であり、私たちのサステナビリティ戦略を反映しています。

チームがリクレイムファー（再生ファー）への移行に力を注いでいたことは、The Standard Expedition Parkaで具体的になりました。調達活動においてチームが完了したリサイクル原料などのPreferred Fibres and Materials（PFM。推奨繊維および原材料）のトレーニングも同様です。

基準値測定の実施および改善を示すために、カナダグースのアイコニックな従来のExpedition Parkaと新作のThe Standard Expedition Parkaのライフサイクル評価を行いました。新作The Standard Expedition Parkaと従来のExpedition Parkaのフットプリントを比較したところ、新作の設計ではCO₂排出量は31%削減され、生産中の水の使用量は68%削減されました。

原材料



OUR JOURNEY IN RESPONSIBLY SOURCED DOWN 責任ある調達活動

私たちにとって最も重要な原材料の1つとして、ダウンは透明性の向上への移行を開始するのに最適な選択肢でした。
2019年、カナダグースのダウンに関する透明性の基準 Down Transparency Standard (DTS) から世界的に認められている Responsible Down Standard (RDS) への移行を開始しました。

この基準のもと、カナダグースは他のブランドやサプライチェーンパートナーと協力し、ウェアに使用されているダウンとフェザーがRDSの総合的な基準で保護されている動物からのものであることを保証しています。RDSは、動物福祉の5つの自由を尊重し、サプライチェーンでのライブブラッキング（生きている鳥から羽を採取）や強制給餌を禁止し、すべてのダウンは家禽産業の副産物であることと規定しています。以前のカナダグースの基準とRDSは同じ使命に基づいており、多くの類似点がありますが、RDSでは、サプライチェーン全体

の管理強化の連鎖となる、CoC（Chain of Custody：生産・加工・流通過程のトレーサビリティ）認証制度があります。

RDSへの移行は、カナダグースのすべての部門が対象となります。生産過程の全工程においてダウンを処理するすべてのサプライヤーとカナダグースの従業員は、RDSコンプライアンスのトレーニングを受けました。すべてのダウンの充填工場は、2020年1月までにRDS基準に対して、独立

した第三者により監査され、すべてのダウンサプライヤーは2月までにRDS認証を取得しました。

全体として、カナダグースは、2019年から2020年にかけて、35の施設のトレーニング、監査、および修復計画の管理および資金提供をしました。管理システムとベストプラクティスを効果的に維持するために、ダウンの充填工場と緊密に連携を続けています。

世界的なパンデミックの状況は一時的に減速しましたが、当社の2021年末にRDS認証を取得する取り組みは順調に進んでいます。

2021年中にカナダ国内の生産工場の100% RDS認証を目指し、パーカにはRDS認証が付けられることになります。また、カナダ以外のサプライチェーンにおいても、RDS認証のダウンの購入と使用が必須になります。

原 材 料

ナチュラルダウンを選ぶ理由

- ダウンは、最も軽量で保温性に優れた最高の天然資源の一つです。
- ナチュラルダウンは、リユース可能かつ耐久性に優れています。それを使用することにより、保温性の製品寿命を保証し、製品が耐用年数をむかえたときにダウンをリユースし、リサイクルすることができます。
- ナチュラルダウンは生分解性です。
- すべてのカナダグースのダウンは、家禽産業の副産物です。

- ナチュラルダウンは、合成繊維と比較して、1トン当たりの環境負荷が85%～97%ほど低いことがわかっています。人の健康、生態系、資源、累積エネルギー需要、気候変動の分野の負荷が、より低減されます。このデータは、International Down and Feather Bureau (IDFB：国際羽毛協会) によって委託され独立したLong Trail Sustainability（ロングトレイル サステイナビリティ）社によって2019年に実施されたライフサイクルアセスメント（LCA）の結果です。



カナダグースの課題取り組みの強化とお客様にとってのRDS認証の意味についての詳細はこちら



MAPPING THE ROUTE FOR RECLAIMED FUR

リクレイムファーへの道のり

60年以上にわたり、カナダグースは北極圏の極寒に耐える真のアウトウェアの重要な機能であり、不可欠な特徴として野生のナチュラルファーを用いてきました。

展開する商品の中でファーが特徴的なパーク（Parka。フード付き防寒ジャケット）には、北米原産の野生のコヨーテファーを使用しています。当社のファーの調達と使用に関する基準は、故意の虐待や不当な危害を受けていない動物からの原材料のみを調達するという当社のコミットメントが反映されています。カナダグースのファーのサプライヤーは、動物に故意の虐待、飼育放棄、または不当な苦痛を与える行為を容認しないことを証明しています。当社のサプライヤーは、次のことも証明しています。

- 連邦政府、州政府、地方自治体の基準の規制に従う猟師からのみ供給します。
- 毛皮農場からのファーを供給しません。

ファーは何十年も使い続けることができ、廃棄してはならないと考えます。何世紀にもわたってリクレイムファーを扱う仕事をするカナダ北部の人々に影響を受け、新しいファーを調達するのではなく、すでにあるファーをリユースすることに取り組んでいます。

2020年に、コヨーテのリクレイムファーに移行することを公表しました。「リクレイムファー」は「リサイクルファー」とは異なります。リサイクル原料（二次資源）は、別の製品の生産に使用する前に、溶解または細断などのプロセスを介して分解して作られま

再生素材は、本来の使用目的のためにリユースできる状態に戻されます- これをカナダグースのパークのフードのファーに適用しています。

リクレイムファーの取り組みは未知の領域への挑戦で、これはカナダグースのめざす姿です。2022年までに新しいファーの購入を終了し、リクレイムファーをサプライチェーンに導入するという目標を達成するには、単にサプライヤーを切り替えるのではなく、独自の方針を立てる必要があります。

この目標を達成するための業務を急速に進めています。最初のステップとして、エンドツーエンドの取り組みのプロセスを形成するグローバルのリクレイムファーワーキンググループを設置しました。ワーキンググループは、原材料の起源、必要なプロセス、リクレイムファーの最終製品の認証の確認のためにリクレイムファーの基準の必要性を特定します。

そのために、世界の繊維産業の悪影響を最小限に抑え、プラスの影響を最大化することに焦点を当てた世界的な非営利団体のIDFL（国際ダウン&フェザー検査機関）およびTextile Exchange（テキスタイルエクスチェンジ）に加盟しました。さらに、この基準をサポートするために、リクレイムファーのサプライチェーン追跡システムを構築し、原産国に関する要件の解決に向けて取り組みを開始しました。

リクレイムファーの未来の基盤を築くと同時に、商品化を加速させ、リクレイムファーを使用した最初の商品 The Standard Expedition Parkaを発売しました。返品保証や店頭買取りなど、リクレイムファーを調達する新しい機会を引き続き模索しています。今後もプログラムを改良し、2022年の目標達成に向けてリクレイムファーの供給を増やしていきたいと考えています。



A CLEAR PREFERENCE FOR SUSTAINABILITY

明確なサステナビリティ

2019年に、バージン原料（一次資源）や従来の原材料の使用を削減し、サプライチェーン全体に環境的、社会的に責任のある原材料を調達するために、リサイクル繊維や有機繊維などのPreferred Fibres and Materials（PFM）を調達することを約束しました。2020年には、PFMおよび第三者認証の審査と調達のプロセスが改善されました。

Textile Exchangeとのパートナーシップにより、新しくPFMの社内プロセスと教育シリーズを導入しました。イノベーションからコンプライアンス、調達活動からマーチャндаイジング、あらゆる部門の13チームの従業員代表は、

PFMサプライヤーの要件、第三者認証、トレーサビリティ、および一般向けの社会が直面しているサステナビリティの要求を立証するための適切な文書化について学ぶ会合を開きました。

個人、そしてチームとして、PFMの管理と信頼性を深く理解した上での、選択、調達、設計、およびコミュニケーションを行える準備が整いました。

PFM教育と並行して、倉庫システムを更新し、ドキュメントを管理するための新しいITプロセスを開発し、サプライチェーンの状況を明確に把握するために設計された社内ツールの原材料サプライチェーンマップを進化させました。

これらの変更により、サステナブルな原材料の調達、生地や設計の意思決定、および今後の商品の統合が容易になりました。

2025年末に、原材料をTextile Exchange（テキスタイル・エクスチェンジ）認証のPreferred Fibres and Materials（PFM。推奨繊維および原材料）90%を目指します。

リサイクル可能かつリサイクル済みの原材料

店舗では、100%リサイクル性とリユースを目的とした紙のショッピングバッグを使用しています。カナダグースは、包装資材からでる影響を把握し、サステナブルな方法で供給されたバージン原料（一次資源）や検証済みのリサイクル原料（二次資源）など、より責任ある素材の使用を推進するために、社内にサステナブルパッケージングワーキンググループを設置しました。このグループは、倉庫、生産、小売店までサプライチェーンのあらゆる段階における梱包資材に対してよりサステナブルなソリューションに変換するために、パッケージングのあらゆる側面を見直しています。



原材料



COMMITTED TO SAFE MATERIALS 安全な原材料にコミットする

私たちは、すべての製品が、それを作る人々、それを使うお客様、そして私たちが暮らす地球の環境のために安全であるべきと考えます。

そのために、各販売国の製品安全規制に基づく包括的な化学物質検査管理システムを実施し、American Apparel & Footwear Association（AAFA：アメリカン・アパレル・フットウェア協会）の制限物質リスト（RSL：Restricted Substances List）の制限値と限界値のガイダンスに準拠しています。すべてのサプライヤーの化学物質、染料、および最終仕上げに対する責任ある管理を確保するために、開発および量産段階において原材料の試験や最終製品の試験を行っています。

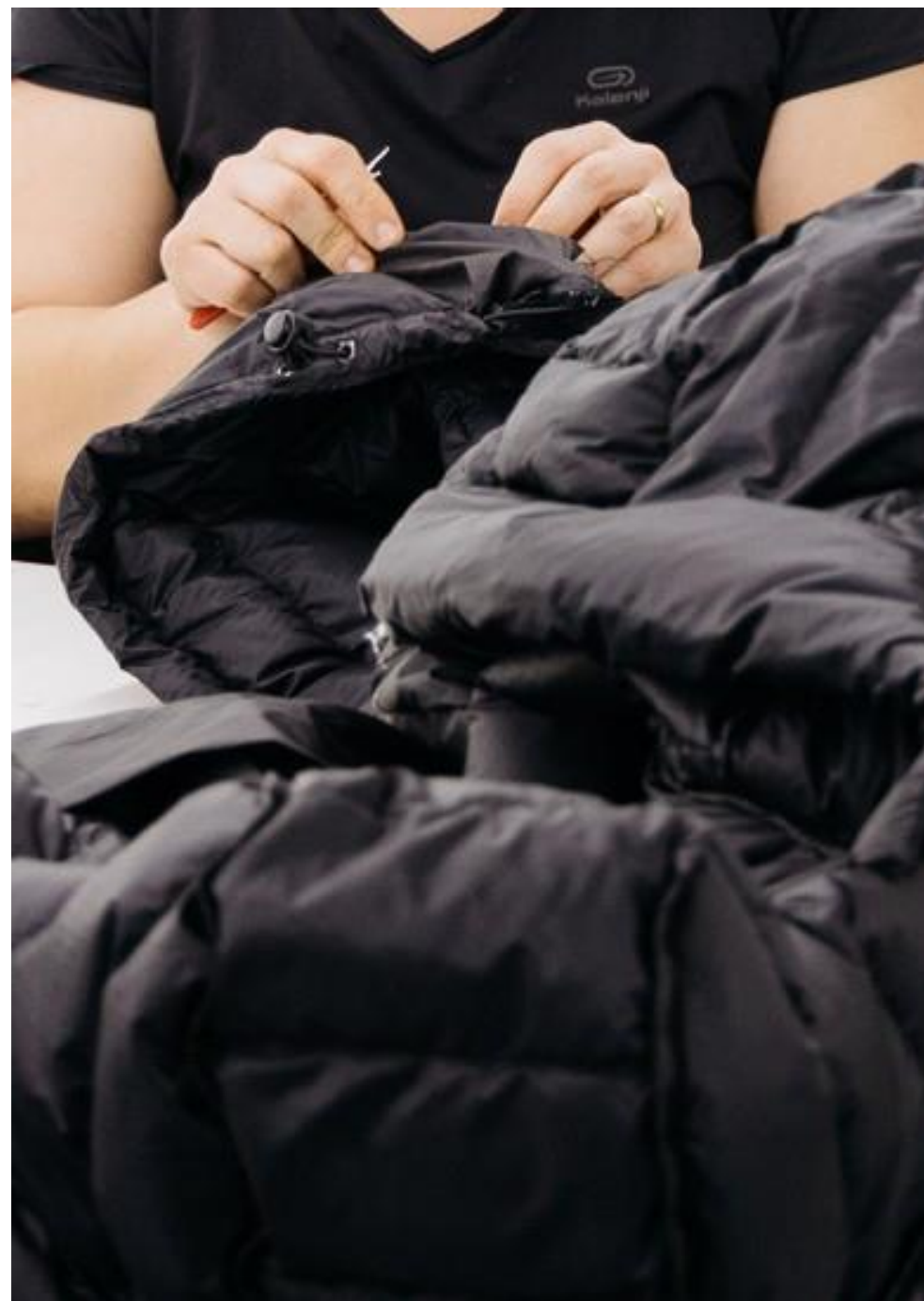
グローバルブランドとして、サプライチェーン全体の安全性の確保の推進のために、2019年にbluesign®のシステムパートナーとなりました。この世界的に認められた組織は、環境、労働者、消費者にとって、安全な化学物質、生産過程、原材料、製品を認証する独立機関です。

bluesign®システムは、サプライチェーンにおける有害物質の混入を除去する環境負荷低減ためのフレームワークです。化学物質から最終製品までの各過程における素材を監視するために、工場の審査および認証するbluesign®のシステムを活用します。カナダグースは、資源の効率、労働者の安全、環境と消費者の保護、および化学物質の排除に関する基準に準拠しています。

カナダグースのカナダ国内生産（量単位）の生地は90%に、責任あるサステナブルな取り組みを示すbluesign®の認証ラベルを2025年までに取得することを目指しています。

また、ライニング（裏地）の原材料のbluesign®認証基準の達成に注力するという戦略的決定を行いました。大量に使用する生地に集中することで、より大きな効果をより速く実現することが可能です。2019年末に32%に到達しています。

2020年3月31日までには、bluesign®認証済みの生地は45%に達しました。



「カナダグースは、サステナビリティのパフォーマンスを向上させる鍵が、供給ネットワークの継続的な評価、特に原材料の生産地と生産方法が重要であることを理解されています。現代のアパレルサプライチェーンは非常に複雑であるため、サステナビリティのパフォーマンスを向上することは想像よりもはるかに難しいことです。すべての関係者に透明性を確保しながら、供給ネットワークのサステナブルなパフォーマンスを広範囲に分析し、継続的に改善するという、カナダグースのコミットメントに非常に感銘を受けています。」

Jill Dumain、CEO、bluesign®
ジル・デュメイン

Manufacturing

生産

カナダのモントリオール、トロント、ウィニペグにある8つの所有および運営する施設で、ダウンパーカを生産しています。新型コロナウイルス感染症のパンデミック以前は、カナダで約4,600人の労働者を雇用し、カナダの衣料品生産部門の労働力の5分の1を占めていました。生産の大半をカナダ国内で行うことで、現地の雇用の成長に貢献し、高い生産能力と労働基準をより簡単に維持することができます。

カナダグースの生産拠点

カナダグースが所有および運営する施設	8	カナダ
最終製品の仕上げ - カナダ国内	24	カナダ
最終製品仕上げ サプライヤー - 海外	8	ヨーロッパおよびアジア
最終製品仕上げ コントラクター - 海外	19	ヨーロッパ およびアジア

またカナダグースは、製品サプライチェーンにおいて、最高のグローバルパートナーと共に仕事をしていることに誇りを持っています。新しいアパレルカテゴリーのニットやアクセサリをラインナップに追加するに当たっては、私たちの品質への期待に応えられ、厳しい社会と環境の基準を満たすことができる適切なメーカーを見つけるために、幅広く調査を行っています。

国内外で、最高の調達を実現し、継続的な改善を率先して行っています。常に人と環境の両方に配慮する新しい方法をイメージし、実行しています。



FOCUSED ON PEOPLE: UPDATING OUR SOCIAL PERFORMANCE PROGRAM

人に焦点を当てる：ソーシャルパフォーマンスプログラムの更新

カナダの国内外で衣服を生産するために働く、工場やサプライヤーの人々は、カナダグースファミリーの一員です。カナダグースのソーシャルパフォーマンスプログラムを通じて、製品を作る人々を保護し、尊重するための方法を追求します。

2020年の間、ソーシャルパフォーマンスプログラムのより強力により協調的なプログラムの基盤を築くことに焦点を合わせました。これには、サプライヤー行動規範の更新が含まれます。この規範には、サプライチェーン全体の労働条件と環境責任に関する基準を定めています。これは、自社工場、コントラクター（請負業者）、生産パートナー、および当社が直接的または間接的に生産する工場に適用されます。また、すべてのサプライヤーに、ソーシャルパフォーマンスプログラムのポリシー、手順、およびサプライヤーの評価に関する重要なガイダンスおよび透明性のある見解を示す補足資料を作成しました。

カナダ国内外のすべてのサプライヤー、ならびにカナダグースが所有および運営する施設は、2020年に更新されたサプライヤー行動規範に署名しました。

コンプライアンスの評価と改善

当社では、社会的な自己評価と第三者評価を年に一度実施しており、責任ある生産への取り組みの実現のために、サプライヤーとの継続的な協働、オープンな対話を行っています。当社のサプライヤーは私たちの真のパートナーであり、相互に支援を行っています。サプライヤーまたはその工場のいずれかがサプライヤー行動規範の原則またはガイドラインに遵守していない場合は、直ちにそれに対処し、改善するために積極的に働きかけます。

パンデミックのために対面監査の安全性を確保している間、更新されたサプライヤー行動規範の遵守の評価のための計画に再度取りかかる必要がありました。工場の他の第三者評価を確認し、すべてのサプライヤーが自己評価を完了しました。サプライヤーと共同でソーシャルパフォーマンスを評価し続けています。



新たなチャンスに 変える

MANUELA S.
マヌエラ・S.、
カナダグース
フロアトレイナー、トロント

12年前、マヌエラは別の会社で男性用のスーツを作っていました。「義妹はいつも、私の会社にはないカナダグースの良さについて話していました」と彼女は話してくれました。「だから、私が解雇されたとき、何の疑問も持たず、すぐにカナダグースの求人に応じ込みをしました。」彼女は採用され、生産ラインで働き始めました。

マヌエラは、カナダグースで新しい仕事に挑戦できるキャリア向上の機会を得られることにとても喜んでいました。彼女はほどなくして生産ラインから保証修理に異動し、そこで約5年間働きました。今は、生産ラインが更新されるときにマシンオペレーターに新しい操作方法を教えるフロアトレーナーをしています。

昨年マヌエラは、カナダグースが初めて対応する医療向け防護服の生産のマシンオペレーターのトレーニングを担当しました。「その仕事に携われてとても嬉しかったです。」と彼女は言います。「医療の現場の第一線で働く方々の安全を支援する機会を得たカナダグースを誇りに思います。」

「私はここで働き続けたいと思います。」と彼女は付け加えました。「ここでの仕事はいつも新鮮です。社内は良い環境で、上司にも恵まれている為、働きがいがあります。本当に良い会社だと思っています。」



ソーシャルパフォーマンスプログラムの更新を通じて、サプライヤーが基準を満たすことだけでなく、プロセスの継続的な改善の動機付けとなる強力なパートナーシップのためのフレームワークを作成しています。また、職場のネットワークが安全で、風通しの良い、責任ある職場づくりを進めています。

人権の保護

企業は人権保護を支援し、尊重すべきであると考えます。カナダグースでは、人権侵害、すなわち児童労働、強制労働および刑務所労働、奴隷制、または人身売買、暴言、感情的な、または性的な嫌がらせおよび虐待、贈収賄および関連する慣行、および偽造書類を容認しません。



新たな情熱に 変える

MARC C.

マーク・C、カナダグース
シフト勤務 スーパーバイザー、
ウィニペグ

マークは、フィリピンでファッションデザイナーのキャリアを築いてきました。彼は5年前にカナダに来たとき、希望の業界で仕事を見つけられるとは思っていませんでした。ですが、彼はカナダグースですぐに昇進し、また会社の補助で会社の第二言語の英語のクラスを受講しました。1年後、生産マネージャーは彼にアシスタントスーパーバイザーに応募するように勧めました。6か月後、マークはスーパーバイザーに昇進しました。

「カナダグースは私の立場に立ってトレーニングしてくれました」とマークは話します。「また、毎年私たち従業員にスーパーバイザーとマネジメントリーダーシップのトレーニングを行ってくれます。」

2020年の夏、マークは夜勤の監督を始め、医療向け防護服の生産に取り組んでいる60人のマシンオペレーターの要望に応えました。

「私はどうしたらオペレーターのみんなを助けることができるかを考えました」と彼は言います。

「マシンオペレーターのみんなは大切な仲間であり、チームの一員であることに非常に感謝しています。」

「これが私の情熱です」とマークは話します。

「私は洋服を作ることが好きです。カナダグースは私にその機会を与えてくれました。」そして、彼の夢は、いつの日か自分のカナダグースジャケットを作ることだと、語ってくれました。彼はすでにそのスケッチを始めています。



MANAGING OUR ENVIRONMENTAL IMPACTS: PROGRESS ON OUR GOALS

環境影響の管理：目標の進捗

カナダグースはカナダ北部で誕生しました。永久凍土層が解け、氷河が後退し、動物の移動パターンが変化するなど、世界の気候変動の影響を目の当たりにしているのはここカナダ北部です。そして、私たちは、大自然と調和し、敬意を払い、生きる先住民から学び、環境負荷低減の活動のインスピレーションを得れるのもカナダ北部なのです。

過去2年間、カーボンフットプリントを利用して、潜在的に環境の改善が必要な領域、つまりCO₂排出量が最も多い領域を明らかにしています。そこから、これらの各領域に廃棄物および/またはエネルギー監査が必要かどうかを判断しています。その結果は、環境とさらに調和して事業活動を行うための方針を示すのに役立っています。

事業全体で、エネルギー利用、CO₂排出削減、廃棄物処理の推進を続けています。廃棄物収集の一元化、従来の使い捨てプラスチック製品の代替品の使用、環境に優しい洗浄剤製品の使用など、地域特有の施設の改善の実施に関して、当社の世界のサステナビリティ評議会が主導的な役割を果たしています。



エネルギーの改善

2019年に、スコープ1およびスコープ2の温室効果ガス排出量の最初のカーボンフットプリントを利用し、エネルギー管理を大きく改善できる機会のある施設を特定しました。2020年初め、エネルギー監査を実施して次のステップに進み、改善することで化石燃料への依存を減らすことができる部分と、エネルギーが浪費されている部分を特定しました。その結果から、エネルギー効率の改善、再生可能エネルギーの設置、および当社に適した再生可能エネルギークレジット（RECS）についての明確で短期的および長期的なアドバイスをいただきました。このアプローチにより、当社のグローバルのエネルギー使用量が削減され、CO₂削減目標を達成できるようになります。私たちは全世界に次のことを約束しています。

- 2022年末¹に再生可能エネルギーの取り組みを適用します。
- 2023年までにエネルギー効率および再生可能エネルギーの購入および/または設置に投資します。
- 2025年まで、必要に応じて再生可能エネルギークレジットに投資します。

世界的なコロナの感染拡大により、いくつかの計画の実行に一時的に影響し、取り組みの勢いは中断されましたが、モチベーションは揺らぐことはありませんでした。公表しているスケジュールの目標を着実に達成しています。

ネットゼロの指標

ネットゼロへの取り組みでは、従来のエネルギー源から再生可能エネルギー源に大胆に移行する必要があります。また、カナダグースのあらゆる施設と共同で取り組みを進める必要があります。多くの施設が互いに歩調を合わせて取り組めるように、次のことを行っています。

- 省エネの必要性を強調し、その機会を得るためにエネルギー監査を実施する。
- すべての生産施設の照明をLEDに切り替え（2020年に完了）、モーションセンサー付きの高度な照明制御システムを利用し、従来の照明を廃止する。

- LEED®認証の建物の開発に取り組みます（該当する場合）。
- エネルギー効率改善のために、CO₂ゼロ/低CO₂のエネルギーの購入を計画し、施設の改造を実施します。

カーボンニュートラルからネットゼロへ:計画の実現に向けた取り組み

世界資源研究所（World Resources Institute）は、「ネットゼロ排出量」を、CO₂除去²と呼ばれるプロセスで、大気中からGHGを排除することにより、残りの人為的GHG排出量の均衡をとるポイントと定義しています。ネットゼロに到達するには、最初にGHG排出量をできるだけ削減し、可能な限りゼロにする必要があります。次に、残りのGHG排出量と、自然な方法（森林の吸収など）または技術的な方法によって地球の大気中から除去するCO₂の吸収量の均衡を達成します。

ネット・ゼロを達成するには、多大な時間と投資が必要です。そのため、ネットゼロの実現に向けた取り組みの中間目標を設定しました：- 事業活動のカーボンニュートラルを早々に達成および超過達成する - **カーボンニュートラル**は、エンティティに関連するGHG排出量が削減され、調査範囲に対してゼロにオフセット（埋め合わせ）し達成されます。³

毎年、スコープ1およびスコープ2の温室効果ガスの年間排出量の200%に相当する量を削減、回避、または捕捉するカーボン・オフセット制度に投資しています。

これらの制度は世界中のどこでも設定でき、調査範囲の1年間に発生する排出量の均衡をとります。2020年に、第三者企業のCarbonzero（カーボンゼロ）と共同で、戦略的で長期的なカーボン・オフセット制度の開発を開始しました。このプロジェクトは、カナダ北部に注力した、当社の全体的な戦略に沿ったものです。

1. このコミットメントは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、当社所有および運営の施設のほとんどが閉鎖や生産の転換をしたため、2021年から2022年に更新しました。
2. <https://www.wri.org/blog/2019/09/what-does-net-zero-emissions-mean-6-common-questions-answered>
3. https://assets.naturalcapitalpartners.com/downloads/The_CarbonNeutral_Protocol_Jan_2021.pdf



Co₂排出量：現在の状況

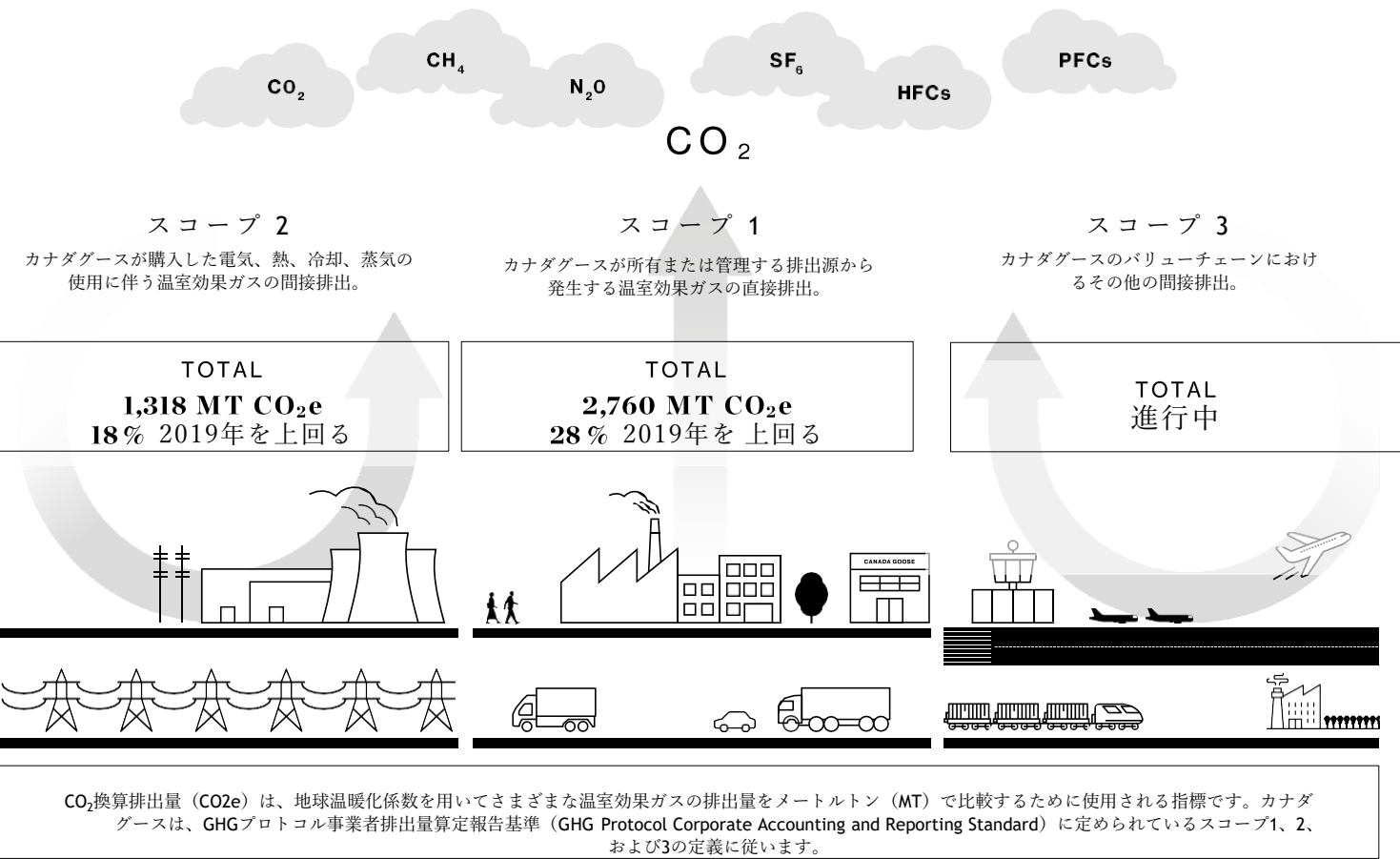
2019年から2020年に、グローバルな事業活動を拡大し、小売店を11店舗出店し、いくつかの既存の生産施設の面積を拡張しました。

予想していた通り、スコープ1とスコープ2の温室効果ガス排出量の合計が計画より5%増加しました。

過去2年間で、効率と成長のバランスについて学びを深め、2021年では、目標に向けて加速します。私たちは2025年のネット・ゼロの目標達成を確信しています。



2020会計年度 温室ガスのフットプリント



REDUCING WASTE: HOW WE'RE LIVING OUT OUR VALUES

廃棄物削減：私たちの価値の反映

アパレル業界のサーキュラーエコノミー（循環経済）の成長に伴い、事業活動のすべての分野でリデュース、リユース、リサイクルするための新しく革新的な方法を模索しています。2020年初めに、本社や原材料倉庫を含む、所有、運営するすべての施設で廃棄物監査を実施しました。

その結果、廃棄物、リサイクル、有機的な輸送のパートナーシップを改善することで、影響するかなりの部分が削減できることがわかりました。2020年は、使い捨てプラスチック、余剰生地、電子廃棄物、品質基準を満たしていない製品、返品保証に関連する廃棄物に取り組みました。さらに、私たちはサステナブル パッケージング ワーキンググループを設置し、既存のパッケージングを消費者にとってより持続可能かつスタイリッシュなオプションに変えるためのオールインアプローチを作成しました。

使い捨てプラスチック

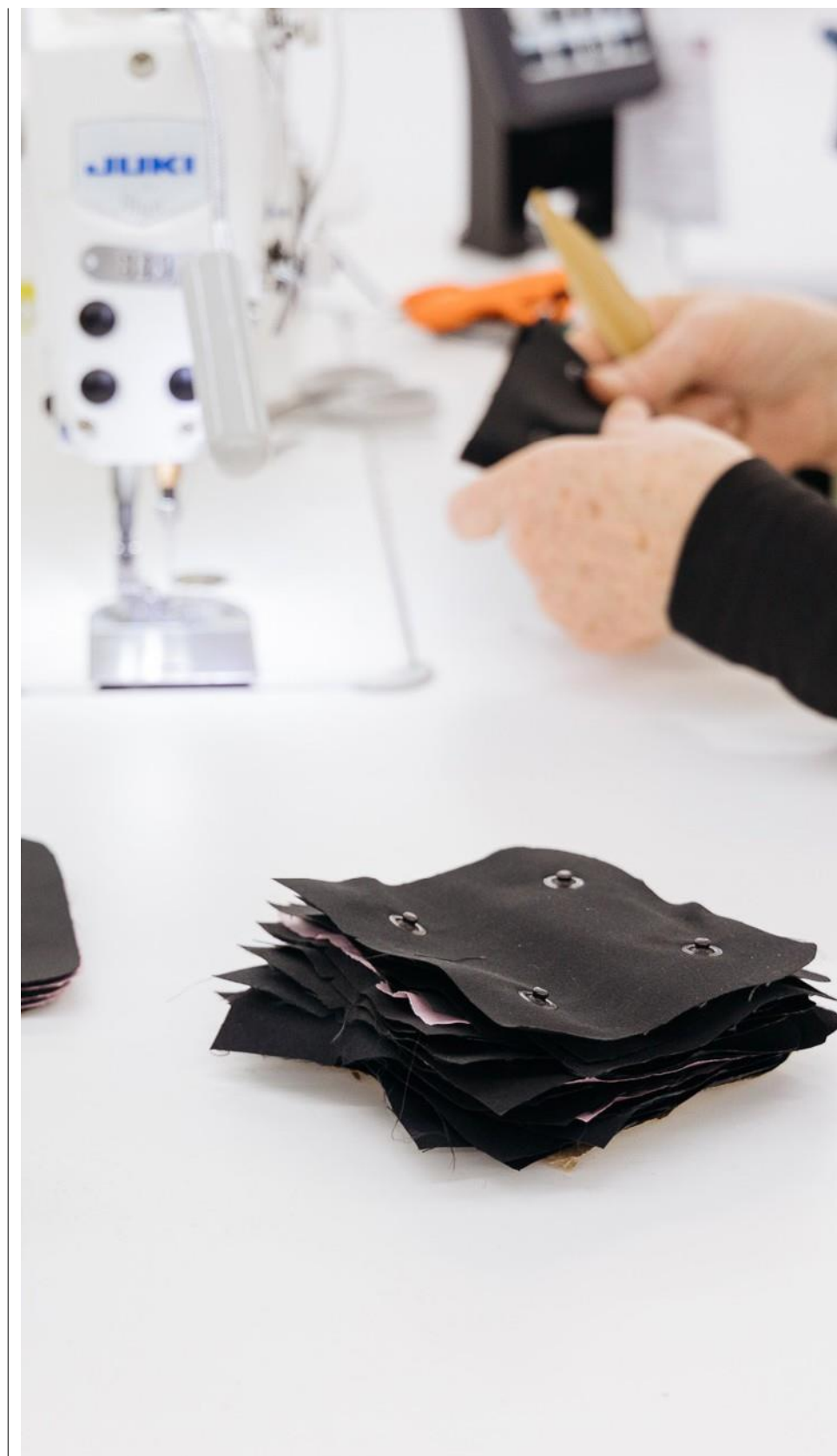
2020年末までに、私たちが所有または管理するすべての施設で、リサイクルできない使い捨てプラスチックを廃止することを約束しました。世界的なコロナの感染拡大により、この取り組みが困難になった一方で、廃棄物監査により、それら施設の使い捨てプラスチックのベンチマーク（評価の指標）を推定することができ、調査を利用して、他のすべての施設をベンチマークするきっかけとなりました。ベンチマークは、施設のチームやその地域のサステナビリティ評議会が、標準化/一元化した廃棄物

収集システムや、従来の使い捨てプラスチック製品の再利用可能または堆肥化可能な代替品など、地域特有のソリューションの実施を支援するために使用されます。

これが私たちが力を注いでいる取り組みです。現時点で、当社の事業活動から使い捨てプラスチックは廃止されたと考えています。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、所有または運営する施設が閉鎖となり、対面監査による第三者による検証は保留になっています。

電子廃棄物

私たちは、電子機器をカナダの埋め立て廃棄物にしないための取り組みを行っています。毎年、[Lifespan Technology](#)や[eCycle Solutions](#)などのパートナーが使用できなくなった電子機器を収集し、責任を持ってリサイクルしています。収集されるアイテムに共通して多いのは、ノートパソコン、キーボード、マウス、携帯電話、および銅線データケーブルです。これらの企業は、責任あるリサイクル業者としてR2認定を受けています。リサイクルした貴金属や鉱物を再生し、部品を販売し、不要になった電子機器の素材や部品は無駄なくリサイクルされます。



返品保証による 廃棄物

製品寿命を保証できることを約束します。保証期間内に製品を交換した場合、返品された製品は保管されます。機能しなくなった製品は「製品寿命保証廃棄物」と呼んでいますが、実際には廃棄されるべきではないと考えています。

繊維産業では、繊維廃棄物の焼却または埋め立て処理による破壊行為が一般的に行われていることは周知の事実です。私たちは一般的とされている方法とは別の方法で処理したいと考え、未使用および保証後の材料と商品のリサイクル、リユース、アップサイクリングの戦略の策定を行っています。

2020年を通じて、カナダ、米国、ヨーロッパの繊維リサイクル業者と提携して、保証品廃棄物のさまざまなリサイクル、寄付、リコマース（中古品の売買）のオプションのトライアルを行いました。最初のトライアルパートナーシップだけでも、パーカ（Parka。フード付き防寒ジャケット）を約6,000着も米国でリサイクル転換しました。2020年末まで、グローバルな転換戦略に取り組みました。- 廃棄物のチャネル変更に取り組めたことは喜びです。



INNOVATION DRIVES EFFICIENCY
イノベーションが効率を促進する



「イノベーションはすべての行動の中核です。私たちのアプローチは、品質と機能へのコミットメントを確実に実現しながら、テスト、学習、改善など、絶えず改善することによって推進しています。私たちはお客様とより良い地球環境のために革新します。」

Woody Blackford、EVP、製品部門

ウッディ・ブラックフォード

イノベーションはカナダグースの従業員にとっては特別なことではなく、私たちの価値観に組み込まれています。特に2020年のような年でも、従業員は新しいアイデアを追求し、プロセスを新しく変更し、効率化のための長期戦略に変えました。



2020年の効率化の向上と廃棄物削減の2つのイノベーションについてはこちらをご覧ください。

People & Communities

人と地域社会

「この地球を冷たく、住む人々を暖かく保つこと」という私たちの目的を達成するためには、必ず目標を設定し、データを測定する必要があります。

従業員、地域住民、グローバルコミュニティとの関係を維持することも同様に重要です。

カナダと世界中で、何千人もの人々に働きがいのある仕事と有益な仕事のスキルを提供できることを誇りに思っています。従業員、地域住民、学生が地域社会で学び、奉仕する機会を作っています。そして、活力ある経済の構築、健康的で思いやりのある職場の維持、そして人と自然の共生の手助けを続けています。



ENGAGING EMPLOYEES

従業員のエンゲージメント

本物であることは、カナダグースブランドのコアバリューであり、「グースクルー」と呼ぶ従業員のコアバリューでもあります。私たちは企業として、グースクルーメンバーの一人ひとりに、個々の目標の達成、変化の創造、多様性の尊重の自由と資源を提供することで、すべての人の支援に取り組んでいます。

年次調査による聞き取り

カナダグースは、従業員の満足度をよりよく理解し、何が機能しているかを学び、より良い職務機会を特定するために、年次調査を実施しています。

2020年には、世界全体で96%の参加率があり、調査対象の総人口は27%増加しました。従業員による、当社の強みは次のとおりです...

- 従業員の誇り
- 明確な価値観
- 職場の多様性と機会均等
- 自分の仕事が全体的なビジネス目標にどのように貢献するかについての従業員の理解
- マネージャーの強み：コミュニケーション、フィードバック、チームワーク構築

ダイバーシティ&インクルージョンのコミットメントの構築

事業全体をグローバルに見渡すと、従業員は世界の多様な構造を反映しており、グースクルーのメンバーは、職場のダイバーシティ（多様性）&インクルージョン（社会的包摂。多様性の受容）を高く評価しています。毎年、世界中のすべてのグースクルーメンバーが、「職場の人権尊重」のトレーニングに参加しています。

このトレーニングは、偏見を明らかにし、職場の多様性と効率や効果などの目標達成との関係について従業員を教育することを目的としています。意欲的なクルーメンバーは、部門やプロジェクトでさまざまな方法で多様性と社会的包摂を促進するために率先して取り組んできました。

世界が人種的不公正や暴力の事例に反応したとき、カナダグースは行動で応えました。Canada Civil Liberties Association（カナダ自由人権協会）とAmerican Civil Liberties Union（アメリカ自由人権協会）への寄付を始め、最新の包摂に関する声明を発表しました...しかし、依然としてやるべきことは多く残されています。

2020年の夏に、私たちはインクルージョンアドバイザリー カウンシル

（Inclusion Advisory Council。インクルージョンに関する諮問委員会）を立ち上げました。このグループは、全社の熱意ある従業員で構成されており、カナダグースの従業員コミュニティのインクルージョンの課題についてのアドバイザーを務めています。



[「インクルージョンアドバイザリー カウンシルの設置」と「全社的なダイバーシティ&インクルージョン戦略策定の過程」についてご覧ください。](#)

インクルージョンの方針

一人ひとりが自分らしく活躍でき、多様性を尊重することで、さらなる業績の向上へと繋がるインクルージョンの力は重要であると考えます。あらゆる形態および定義の多様性を受け入れ、障壁を取り除き、包摂的な文化を育み、日々、そして、どんなときも、誰もが働きやすい職場の公平性を保つように努めています。

従業員の幸福をサポートする

パンデミックの前に、メンタルヘルスの専門家を配置し、グースクルーのメンバーの精神面のケアにあたっています。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が広まり、メンタルヘルスの専門家は従業員にとって不可欠な存在となりました。

2020年には、新しい従業員支援のプログラムとしてメンタルヘルスサービスを開始しました。

グースクルーのメンバーは、資格のあるメンタルヘルスの専門家に24時間電話で相談できるようになりました。このプログラムにより、従業員の日々のストレス、個人的な悩み、急性の精神不安をサポートし、今後数年間にわたり、従業員満足度の向上を継続的に進めていきます。

また、2020年3月には、店舗や生産ライン閉鎖の影響を受けた上に、政府の支援を受ける資格がなかった従業員のために、カナダグース従業員支援基金を設立しました。

プロフェッショナルとしての成長を育む

従業員には、さまざまな方法で専門性を高められる機会があります。1つは、生涯学習プログラムです。このプログラムでは、固定給で働く従業員の外部の学習コース受講料を負担します。過去3年間で、事業全体の従業員のための生涯学習プログラムに15万ドル以上を投資しています。

これは、従業員、事業、および地域社会に利益をもたらす有益な投資であると考えます。

世界中で、すべての従業員がLinkedInラーニングにアクセスでき、15,000件以上のオンラインコースを利用できます。このオンラインコースで、ビジネス、クリエイティブ、テクノロジーのスキルを学べます。

当社のグローバルメンターシッププログラムは、経験豊富な先輩に経験を共有し、対人スキルを構築する機会を提供し、後輩に実践的なアドバイス、励まし、サポートを行います。

寄付とボランティアの文化を推進する

グースクルーのメンバーは、CG Givesの寄付とボランティアのプログラムを通じて地域社会に還元しています。2019年にプログラムを開始し、従業員が地域社会に個別に、または部門単位での寄付およびボランティアの機会を提供しています。固定給で働く従業員には、自分が選んだ慈善団体にボランティアとして参加するための有給休暇が毎年最大3日間あります。時間給で働く従業員が個人的な時間でボランティアをする場合、従業員がボランティアに選んだ慈善団体に2,000ドル相当の現金寄付を行います。また、従業員からの寄付金を世界中の慈善団体に寄付し、各会計年度で従業員1人あたり最大2,500ドルを寄付しています。さらに、Polar Bears International、Students on Ice、カナダ全国のイヌイットを代表する非営利団体のInuit Tapiriit Kanatami (ITK) の、カナダ北部を敬愛する団体のチャリティーに最大5,000ドルを寄付しています。

2020年には、CG Givesプログラムを通じて、従業員の寄付とマッチング拠出制度から、慈善団体のチャリティーに13万ドル以上の寄付を行いました。



寄付とボランティアの機会を集約

2020年8月、従業員の関りをつながりグローバルに高めるために、バーチャルボランティア活動のプラットフォームを立ち上げました。それは単にCG Givesプログラムにアクセスできるだけではなく、世界中の約200万の非営利組織にアクセスすることができます。このプラットフォームにより、寄付やボランティアの機会を見つけることができ、簡単にローカルやグローバルに貢献することができます。

そして、持続可能な変化のモチベーション付けとしてCG Givesプログラムを活用しています。従業員は、国連の持続可能な開発目標に沿った、会社および部門全体のサステナビリティの課題に参加し競い合うことができるようになりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の制限の解除がされた時には、従業員が、カナダ北部を敬愛する団体のパートナーの1つに寄付すると、北極圏での実践的なボランティアを体験できる10人に選ばれる資格を得られます。



\$130K

2020年に、カナダグースを通じ、従業員の寄付とマッチング拠出から、13万ドル以上を慈善団体に寄付しました



「パンデミックの時に従業員安全確保のために取った行動」と「医療向け防護服を生産する際に意志を持って集結した従業員の姿」の詳細についてはこちらをご覧ください。



ENGAGING OUR COMMUNITIES

地域社会との関わり



Home is where the heart.

”ホーム”とは愛情があるところ。

-そしてカナダグースにとってのホームはカナダの北部です。**CG Gives**の寄付とボランティアのプログラムに加えて、カナダ北部の地と人々を支援するための長期的なパートナーシップとプログラムを築きました。カナダ国内でのアクションは、グローバルな課題に取り組むのに重要であると考えます。



未来の人財の育成

数十年前、カナダのアパレル生産の大部分が海外生産にシフトしました。私たちはここカナダに留まることを決意しましたが、時間の経過とともに、熟練の従業員の供給の減少と当社製品の需要増加のギャップが拡大しました。

私たちは、ソーイングトレーニングスクール（縫製訓練学校）を設置し、そのギャップを解消し、失業者や不完全雇用者、地域の移民のコミュニティメンバーが、需要の高いスキルを身に付けられるようにしました。6週間のプログラムでは、生産ラインのポジションに備えるための研修だけではなく、アシスタントスーパーバイザー、スーパーバイザー、エンジニア、マネージャーと、キャリアをステップアップできるように研修します。受講生は段階的に難しい縫製技術を学ぶことができ、好機を増やすために英語またはフランス語の第二言語プログラムの認定を取得できる第二言語プログラムのオプションがあります。新型コロナウイルス感染症

（COVID-19）により、2020年中にこのプログラム実施することはできませんでしたが、安全が確認でき次第再開できることを心待ちにしています。

人と地域社会

4.9K

2015年～2020年に4,900人以上が
ソーイングトレーニングスクールの課程
を修了しました



CELEBRATING NORTHERN ARTISANS

カナダ北部の職人技を称える

イヌイット族は最初のパーカを作った民族です。カナダグースはプロジェクト アティギを通じて（アティギはイヌクティトゥット語でパーカの意味を持つ）、イヌイット族がカナダ北部の過酷な環境で生きていくために現在も引き継がれているクラフツマンシップのレガシーを称えています。

2019年に、イヌイットの4つの地域の女性裁縫師に依頼し、唯一無二のパーカコレクションを製作しました。各デザイナーに、装飾部品、トリム、何色かのArcticTech®の生地を含む素材をセットにしたキットを提供しました。

彼女たちはそれぞれ、当社の素材を使い、伝統的な技術と一人ひとりの独自のスタイルで、オーダーメイドのパーカを製作しました。

2020年のプロジェクト アティギでは、11のイヌイットコミュニティから18人のアーティストに依頼しました。

お客様は、コレクションの美しさとデザイナーのストーリーを、オンライン、トロントとパリのリテール店舗のディスプレイから体験することができました。

これからも、当社のグローバルプラットフォームを活用して、非常に才能のあるアーティストの優れたデザインを世界のマーケットに提供し、イヌイットデザイナーとしての社会的起業家精神を築く機会を与え、新しいファンにイヌイットの文化について知る機会を提供していきます。

\$100K

2020年に10万ドルの売上が
INUIT TAPIRIIT KANATAMIに
寄付されました

2.5B

25億を超えるメディアインプレッションを獲得し、イヌイットのアーティストのデザインが世界の多くの人の目に触れました

プロジェクトアティギコレクションの売上は、イヌイットの4つの地域から成るイヌイットヌナンガット（Inuit Nunangat）と協力する全国のイヌイット タピリット カナタミ（ITK）を通じてイヌイットのコミュニティに送られます。ITKは、研究、アドボカシー活動、公的支援、教育を利用して、イヌイットの健康、幸福、繁栄を促進しています。



カナダ北部の地域社会に素材を供給する
2007年、ヌナブト準州のポンドインレット
の2人の女性裁縫師 - Meeka Atagootakと
Rebecca Kiliktee - により、継続的なコミュ
ニティパートナーシップの新しいアイデア
が生まれました。彼女たちがトロントの工
場を訪問したとき、家族や友人のために
ジャケットを作るのに余った素材をいただ
けないかと尋ねました。このリクエストか
ら、カナダグース リソースセンター プログ
ラムへと発展し、余剰材料の廃棄を防ぎ、
カナダ北部の人々に恩返しをする取り組み
となりました。

年に数回、生地、ジッパー、ボタン、その
他の加工後の資材を、北部の僻地にあるリ
ソースセンターに送っています。地元のボ
ランティアや輸送機関の寛大な支援で、カ
ナディアンノース航空により無償で空輸さ
れ、希少で高価な最新の高性能な生地をコ
ミュニティのメンバーに無償で提供してい
ます。

2019年～2020年に、プログラムを拡大し
て、8番目のコミュニティであるヌナブト
準州のケンブリッジベイに素材の供給を
行いました。



IM+

2009年以来、100万メートル以上
の生地を8つのコミュニティに
寄贈しています

A RECORD YEAR FOR SUPPORTING POLAR BEARS

ポーラーベア支援の記録的な年



気候変動とそれに伴う海氷の減少は、ホッキョクグマの未来を脅かしています。**10**年以上にわたり、カナダグースは、北極圏とその未来のための保全活動に対する人々の意識向上と、お客様に北極圏の北部の辺境の地と地球環境の関係性を示すために、ポーラーベア インターナショナル(PBI)を支援してきました。

\$1M+

PBIに1年間に100万ドル以上
寄付しました- 新記録



私たちのPBIへの貢献は、北極圏の過酷な状況下でPBIの研究者が重要な研究を行う際に北極圏の寒さをしのぐのに最適なパーカを寄贈したのが始まりとなり、さまざまな形で貢献しています。

10年以上にわたり、PBIに寄付するための資金を創出しており、また、PBIのミッションを新しい支援者に伝える目的の特別なコレクションのPolar Bears International Collectionを展開し、「PBI Blue」のワッペンをあしらったパーカを販売しています。2020年には、PBIコレクションに5つのスプリングスタイルを追加し、コレクションの幅を広げました。PBIアンバサダーのKate Uptonをフィーチャーしたキャンペーンでは、55億回メディア上で表示され、各ジャケットの売上につき50ドルをPBIに寄付しました。販売収益とグローバルマーケティングを組み合わせた効果で、ホッキョクグマが育める安全な未来、それは私たちとお客様にとっても安全な未来、を得るための機会をより多く生み出しました。

これまでに、カナダグースはPBIの重要な研究だけでなく、ホッキョクグマとその保全に不可欠である大切な教育と奉仕活動を支援するために400万ドル以上を寄付してきました。この2年間には、マニトバ州チャーチルの最先端の案内センターのポーラーベア インターナショナル・ハウスの建設を支援しました。



新しいスプリングPBIコレクションとキャンペーンに加え、2020年の2つの独自の取り組みにより、PBI貢献の記録的な年となりました。

2020年 INTERNATIONAL POLAR BEAR DAY を称える

PBIと共に、2020年2月27日に2つの新しい取り組みを開始し、ホッキョクグマの保護が世界的に注目を集めました。短編ドキュメンタリーとコレクターズアイテムのPBI BE@RBRICKを通じて、ホッキョクグマに対する気候変動の脅威と私たち人間に対する脅威との関係に光を当てたいと考えました。世界中の人々の行動を起こすきっかけとなり、共に未来の道を変えることができるという希望を与えることを目的としました。

BARE EXISTENCE（ありのままの存在）：北極での生態の記録

International Polar Bear Day（国際ホッキョクグマの日）に、PBIはドキュメンタリー *Bare Existence* を公開しました。私たちは、カナダのホッキョクグマと共に暮らす科学者や自然保護活動家の目を通して、北極の現実を描いたこの映画の制作をサポートできたこ

とを誇りに思います。北極の美しさと気候変動の破壊的な影響の両方を映画を通して経験でき、PBIチームの前向きな変化への希望に輝いている姿が描かれています。



Bare Existence についての詳細と映画はこちらからご覧ください。



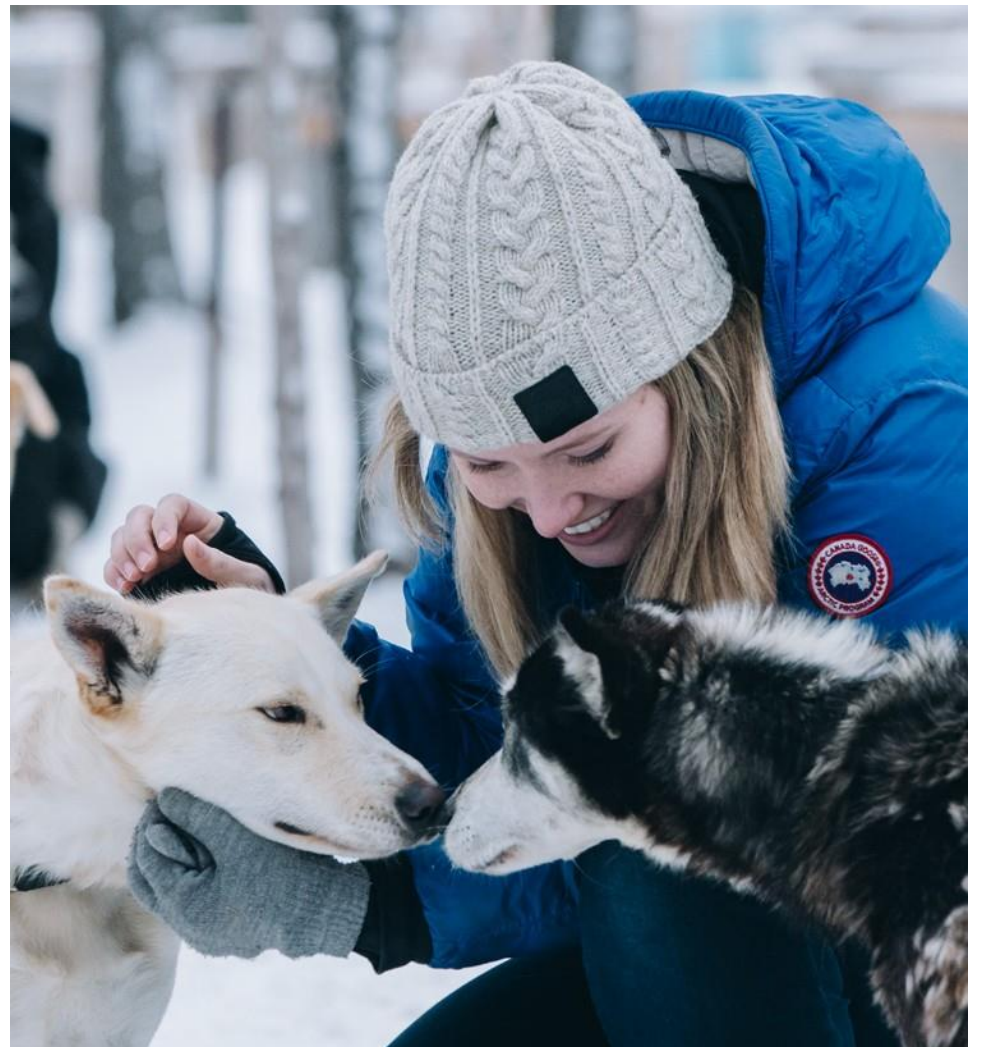
PBI BE@RBRICK

2001年にMEDICOM TOY（メディコム・トイ）社はBE@RBRICK（ベアブリック）を発売して以来、様々な現代アーティストやブランドとコラボレーションし、コレクターズアイテムのカスタムバージョンを製作しています。私たちはMEDICOM TOYと共同で、「Bare Existence（ありのままの存在）」のスローガン「What affects them, affects us all.（ホッキョクグマたちに影響することは私たちにも影響している深刻な問題）」を表現したPBI BE@RBRICKをデザインしました。半分ミラー、半分ホッキョクグマのPBI BE@RBRICKを持つと、ホッキョクグマの顔の半分に自分が映し出されるという、スローガンをイメージしたデザインになっています。

BE@RBRICKの売上の一部は、直接PBIに寄付されました。すぐに完売し、パートナーの団体に1年間に記録的な寄付をすることができました。

「カナダグースには、ポーラーベア インターナショナル。（ホッキョクグマ保護団体）の重要な研究にさらに資金をご提供いただき、保護活動の拡大や人々の保護活動に対する意識向上のためにご支援いただいています。新しい10年を迎え、活動に対する意識はこれまで以上に高まっています。他の業界リーダーがカナダグースのように加盟することで、前向きな変化の力となり、ホッキョクグマと私たちに代わって、北極圏を保全するための世界的な行動の動機づけとなることを期待しています。

Krista Wright クリスタ・ライト、
エグゼクティブディレクター、
Polar Bears International





カナダグースのサステナビリティの詳細はこちらをご覧ください：

[CANADAGOOSE.JP/SUSTAINABILITY](https://canadagoose.jp/sustainability)

COPYRIGHT © 2021 CANADA GOOSE INC.